

第8回旧吉田茂邸活用検討会議結果概要

日 時 平成19年8月22日(水) 14:00~16:05

場 所 町役場 4階 第1会議室

出席者 別紙名簿のとおり

傍聴者：傍聴人なし

概 要

1. 会長あいさつ【省略】

・県職員の紹介、あいさつ(池貝県土整備部参事：大規模公園担当)

2. 議題

(1) 旧吉田茂邸利活用に係る提言について

○事務局より提言書(案)について説明

会 長：提言書(案)については、8月9日に私と井上副会長、関野委員、石井委員の4名で調整会議を開催し、事務局と調整して作成したものです。

あくまでも提言であるので、我々が検討会議で討議した内容を簡潔にまとめるといふ趣旨で作成した。必要な資料等は別添という形で添付した。

○質疑

委 員：誤字がある。P2の4その他関連事項の(1)記念室設置の検討の1行目の「山形有朋」の「形」が違っている。「縣」である。

会 長：P1の2旧吉田茂邸についての7行目の「吉田御殿」やP2の3の(2)利活用の方向性の5行目、「貴賓室的に使用できる格式の高い貸室等の整備も検討する。」の言葉や表現について、ご意見をいただきたい。

委 員：吉田御殿は、マスコミが勝手に使っているもので、適切ではないのでは。

P1の2旧吉田茂邸についての11行目の「さらに氏の～」の「さらに」は必要ないのでは。

P2の中に「各種文化芸術活動」や「地域の芸術活動」という表現を多用しているが、何か狙いがあるのか。

P3の③の古道の整備は、新たに整備をするものか。

委 員：「吉田御殿」は「吉田学校」と呼ぶこともある。

委 員：P1の2旧吉田茂邸についての8行目に「豪壮な姿が」とあるが、吉田氏は質素

な生活をされていたので、そのような表現はどうか。

委員：吉田五十八氏の設計の作品には、御殿や豪壮という言葉は似合わない。あの方はそういう作品は作っていない。

委員：「吉田御殿と呼ばれる豪壮な姿が」を「代表的な純和風の建物が」としたらどうか。

委員：年代によっては、「豪壮」という言葉の意味が理解できないのでは。

事務局：簡単にまとめるのであれば、「増改築が施されるに至り、現在の姿が完成した。」としたらどうか。

委員：傾斜を利用した建築であり、豪壮と言っても過言ではない。

委員：1万坪の中にあの建物が建っていることを考えれば、御殿という表現は間違えてはない。

委員：建物を残すことがコンセプトのはずで、収益性をもっと考慮すべきでは。長く残すことを提言すべきではないのか。

事務局：収益性については、検討会でご指摘をいただいた。P1の3建物の利活用についての(1)利活用の前提条件の下から2行目からP2の1行目にかけて、簡潔ではあるが入れている。また、P2の(2)利活用の方向性の中にも、利用料の取れる部屋の使い方、収益の上がる飲食物等の提供についても入れている。

委員：理解はしているが、もっと強く、個性的に表現した方が良いのでは。

委員：文化芸術活動、コミュニティー活動という表現を入れて、収益性の上がる利活用が図られるか心配である。

事務局：パブリックコメントの中で、庭園部分でのコンサートやサークルなどの展示、発表など文化芸術活動やコミュニティー活動への期待が大きいので記載をさせていただいた。そのような活動のために、公園に来ていただくという利活用の一つと考える。

委員：日本の建築で豪壮な建築と言え、お城とか陽明門、東大寺の大仏殿などがまさに豪壮な建物であると言えるが、桂離宮は豪壮とは言わない。桂離宮と吉田邸を比べてもそんなに遜色は無い。その点から考えると豪壮は少し大袈裟である。

委員：有料で公開となれば、目玉になるものが欲しい。人を呼ぶとなると、「吉田御殿」は必要ではないか。

会長：P1の2旧吉田茂邸についての7行目は、意見を総合すると、「吉田御殿と呼ばれる純日本風の現在の姿が完成した。」とし、注釈で当時のマスコミで吉田御殿と呼ばれたと欄外に入れるということによろしいか。

委員：吉田茂自身は何と呼んでいたのか。

委員：吉田茂は、松籟荘と呼んでいたもので、「吉田茂が松籟荘と呼んで愛した」と入れたらどうか。

委員：商業的には「吉田御殿」と呼んだ方が良いのでは。

委員：パンフレットなどは、それでも良いと思うが、提言書にはどうか。

会長：色々なご意見は尽きないが、P1の2旧吉田茂邸についての7行目は、「宮大工により増改築が施されるに至り、現在の姿が完成した。」と改める。

P1の2旧吉田茂邸についての11行目の「さらに氏の～」の「さらに」は削除する。

P2の1行目の「収益性にも」を「収益性には」に改める。

P2の3の(2)利活用の方向性の5行目、「貴賓室的に使用できる格式の高い貸室等の整備も検討する。」を「貴賓室的に使用できる」を削除し、「格式の高い貸室等の整備も検討する。」に改める。

委員：P2から3にかけての、4の(3)庭園整備に関する要望についてだが、①から④だけでは、インパクトに欠けると思う。

城山公園と吉田邸を歩道橋のようなもので、結ぶようなインパクトのあるものを入れなくて良いのか。

委員：4その他関連事項以降は、県へのお願いという捉え方をして良いのか。

事務局：この提言書は、町から県へ吉田邸の建物の利活用の部分で要望をさせていただく元になる提言となる。町の方でもこの提言書に基づき、プロジェクト会議で精査して県知事に町長から要望書を出していく。現実的には、吉田邸の整備が進んできた中で、細かい様々な利活用について町と県の担当課で煮詰めていく方向で進むと考えている。

委員：ハード的な施設の整備について、この中に盛り込むのはどうかと思う。

委員：具体的なハードの整備について、追加するのではなく、施設の整備についても要望するような、ニュアンスを漂わせる文章を追加するということである。

委員：駐車場の整備を盛り込んでいただきたい。地元地区としては、路上駐車、違法駐車懸念される。

事務局：この検討会議において、駐車場を整備する、しないの二通りの意見に分かれていた。パークアンドウォークの提唱、回遊ミニバス、レンタサイクルの導入などとの兼ね合いについて、検討していく必要がある。

委員：多少なりとも、吉田邸に駐車場の整備をお願いしたい。

委員：今の時代、駐車場は必要である。

委員：駐車場があっても、満車になれば空くまで道路上で待つてしまう。現に海水浴場で起こっている。かえって、駐車場が無いということアピールした方が良いのではないか。

委員：収益性の観点からも、駐車場が無いということは、致命的な結果になる。

事務局：P3の4その他関連事項の(3)庭園整備に関する要望についての⑤として、「大磯城山公園との一体化のために連絡橋の設置や違法駐車防止のため駐車場の確保についても、今後県と協議が必要である。」を追加する。

会 長：それでは原案を事務局が訂正しますので、10 分程時間をいただきます。その間
休憩とします。

【 休憩を閉じる 】

事務局：＜ 修正箇所について説明 ＞

会 長：以上のおり修正案を作成いたしました。この案をもって、本検討会議の提言書
としてよろしいでしょうか。

委 員：＜ 異議なしの声あり ＞

会 長：それでは本提言書を会議終了後に町長に提出します。

(2) その他

○事務局より今後のスケジュールなどについて説明

事務局：この提言書を元に内部調整を行い、とりまとめを行う。その間に議会に報告し内
容をまとめて、町長から県知事の方へ要望を行う運びとなる。

また、10 月の 3 日から 12 月の 2 日まで特別公開を行う。今月末に発行される
広報 9 月号で募集を行い、受付は 9 月の 3 日からとなる。

10 月 26 日には、シンポジウムを開催する。検討会議の委員の皆さんには招待状
を送付するので、ご参加、ご協力を願いたい。

なお、検討会議は本日で終了ということになるが、委員の任期が 3 月まで残って
おりますので、今後県や町の情報等で何か新しい動きがあれば、報告を兼ねてお
集まりいただくこととなりますので、ご協力をお願いします。

会 長：他に何かございますか。なければこれで議事を終了させていただきます。本日を
もちまして、当検討会議の役割は一応終了となります。約 9 ヶ月間、計 8 回にわ
たりご熱心なご審議をいただきまして、ありがとうございました。

【 提言書の提出 】

○原田会長より三好町長に提言書を手渡した。

＜ 町長あいさつ ＞

提言書を頂戴いたしました。昨年 11 月から 8 回にわたり、熱のこもったご審議をして
いただき、私たちとしても責任が重大であると感じております。

吉田邸は、町だけにあらず、県、国にとっても大変貴重な財産であるので、提言書の趣
旨を理解していただき、県とあいまって有効に活用させていただきたいと思ひます。

これだけの資産であるので、できるだけ多くの人に来ていただけるような、機能的な県立公園としていきたい。町としても、有意義な施設となるよう努力していきたい。

今後とも、なお一層のご支援をいただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。
長い間、本当にどうもご苦勞様でした。ありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、散会とさせていただきます。長期にわたり、ご協力ありがとうございました。

以上

第8回旧吉田茂邸活用検討会議出席者名簿(敬称略)

H19.8.22 大磯町役場4階第1会議室

区分	氏名	備考
会長	原田 義彦	大磯町教育委員会委員長
副会長	井上 浩吉	大磯町観光協会会長
委員	関野 好一 後藤 勲 重田 照夫 遠藤聡太郎 向井 英辨 鈴木 馨 荒金 謙次	大磯町区長連絡協議会会長 大磯町区長連絡協議会副会長 大磯町商工会会長 大磯町観光協会事務局長 西小磯地区 中丸地区 大磯ガイドボランティア協会会長
オブザーバー (神奈川県職員)	中島 秀和 池貝 浩 江指 茂樹 山田 養一 赤坂真寿美	神奈川県企画部政策課副主幹 神奈川県県土整備部参事(大規模公園担当) 神奈川県県土整備部都市整備公園課主査 神奈川県平塚土木事務所道路都市部道路都市課長 湘南地域県政総合センター企画県民部企画調整課主査
事務局 (大磯町職員)	加藤 幹雄 杉山 賢治 仲手川 孝 大槻 直行 二挺木敏行 福島 伸芳	大磯町参事(行政改革・企画担当) 大磯町企画室長 大磯町企画室副主幹 大磯町企画室主査 大磯町都市整備部都市整備課長 大磯町教育委員会郷土資料館長